

大きな憧れをいだく大草っ子



大草小学校だより「あこがれ」

第5号 平成28年6月22日(水) 校長 有谷孝彦

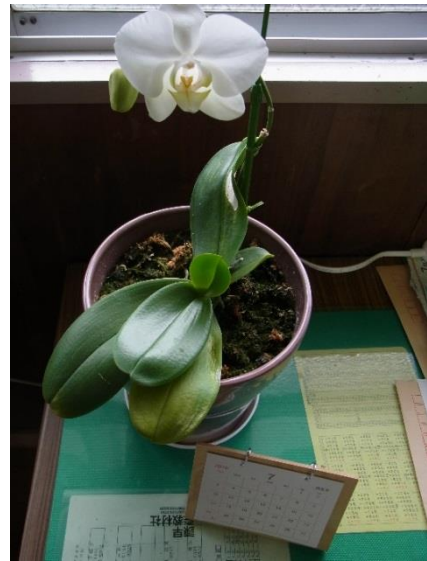
学校づくりの合言葉「**大草 つくろう！ トライアングル**」
自信 (Confidence) 挑戦 (Challenge) 思いやり (Consideration) トリプルC



なんと！咲きました！

一昨夜は、まさに梅雨の天候でした。激しく降る雨と光り続ける稲光、そして空気を揺さぶる雷。ずっと外を眺めていた子どもたちも多かったのではないのでしょうか。土砂災害警報も出されていまして、特に大草小学校区は十分な警戒と備えが必要であると、再認識いたしました。今後も続くと思われますので、災害に対する準備を怠らないようにします。

さて、去年の4月に大草小学校に赴任したときにお祝いとしていただいた蘭の花がありました。それはそれはきれいな花で、緊張している私の心を和ませてくれました。季節が進み、花も枯れ、あまり植物に関心の無い私ですから、そのまま枯れさせるところだったのですが、前琴海中(現御館山小)の久林校長先生に手ほどきを受け、なんと一輪の花を咲かせました。諦めずに根気強く、思いを込めて手を加えれば、応えてくれるのですね。子育てと同様に！(^_^)



朝顔のつる

金子みすゞ

垣がひくうて朝顔は、
どこへさがるとさがしてる。

西もひがしもみんなみて、
さがしあぐねてかんがえる。

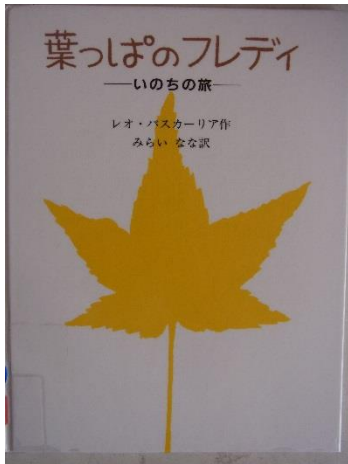
それでもお日さま
こいしゅうて、

きょうも一寸またのびる。

のびろ、朝顔、まっすぐに、
納屋のひさしがもう近い。



教育週間を終えて



6月9日から1週間、「大草っ子の心を見つめる教育週間」を行いました。毎年、初日に校長講話があり、命を考える週間であることを子どもたちに意識させます。今年は、左の写真にあるように「葉っぱのフレディ～いのちの旅～」の読み聞かせを行いました。有名なお話ですので、御存知の方も多いかと思いますが、作者であるレオ・バスカーリアは、「死別の悲しみに直面した子どもたちと、死についての的確な説明ができない大人たち、死と無縁のように青春を謳歌している若者たち・・・に贈る。」と書いています。あらすじは、

1本の枝に生まれた葉っぱのフレディやその仲間たちが、自ら成長し、誰かのために役に立ち、それぞれの個性をもち、経験したことの無い変化「死」について受け入れていくというお話です。読み聞かせの後には、「死」を迎えるためには、自分らしく、精一杯生きていかなければならないことをお話ししました。もう皆さんはお気づきのことでしょうか。この話を全校児童にしたものですから、特に低学年の児童にとっては、大変難しく、私の講話としては、失敗に終わりました。しかし、教育週間の最終日には、各学年ともに「道徳の授業」において、しっかりと命の学習を行いましたので、ほっとしたところです。特に6年生は、「葉っぱのフレディ」を題材に、より深く命の学習を行いました。もし、機会がありましたら、読んでみられませんか？「葉っぱのフレディ～いのちの旅～」



☆7月の主な行事予定

- 1日(金) 授業参観 学級PTA フッ化物洗口説明会 竹切り
- 4日(月) クラブ活動
- 6日(水) PTA役員会
- 8日(金) 大草太鼓練習 竹加工
- 9日(土) 大草塾(竹細工、そうめん流し)
- 10日(日) 健全育成会球技大会
- 12日(火) 給食費集金日～14日
- 13日(水) 大草太鼓練習
- 18日(月) 海の日
- 20日(水) 第1学期終業式
- 22日(金) 保護者面談(東園) 25日(月)(西園) 26日(火)(野副)



学校だより等については、大草小学校HPにも掲載しておりますので御覧ください。